

★国・道の策定指針 ～ ■地域包括ケアシステム（医療・介護・介護予防・住まい・日常生活の支援）の深化・推進 ■医療計画との整合性 ■地域ケア会議と生活支援体制整備の推進  
 ■人材の確保と資質の向上 ■介護家族等への支援の充実 ■認知症施策の推進 ■高齢者虐待の防止 ■住まいの安定的な確保 ■介護サービス情報の公表

第 6 期南幌町総合計画（基本施策：保健福祉・医療分野） ■政策（3）誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

（1）地域で暮らすための支援 （2）介護保険サービス等の充実 （3）社会参加と生きがいの支援 （4）地域包括ケアシステムの充実

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な取組内容及び関係機関の取組内容（■介護保険事業／○町事業／△その他関係機関事業）
高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で自分らしい生活を送るためのまちづくり	①いきいきと暮らす地域づくり いきがい・社会参加	生きがい活動の充実と生涯学習活動の推進	■地域づくりサロン事業 ■高齢者いきいき健康マージャン事業 ■高齢者元気ハツラツ事業 ○単位老人クラブ、老人クラブ連合会への活動支援 ○ふれあいの湯入浴料の助成 ○福祉スポーツ大会（老連） △ひだまりサロン（社協） △ふれあい食事交流会（社協） △南幌町さわやかカレッジ（教委）
		社会参加の推進	■介護支援ボランティアポイント事業 ○高齢者事業団活動への支援
	②健康で暮らす地域づくり 健康・介護予防	生活習慣病予防の推進（健やかな暮らしの実現）	○高齢者予防接種（高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌） ○特定健診 ○後期高齢者健診 ○各種検診（がん検診・巡回脳検診） ○家庭訪問 ○健康栄養相談 ○健康教育
		介護予防の推進	■男の料理教室 ■快足シャキッと倶楽部 ■高齢者運動促進事業（貯筋力アップ事業） ■高齢者水中運動事業 ■ノルディックウォーキングポール貸出事業 ■元気応援ネットワーク事業
	③安心して暮らす環境づくり 安心・生活支援	生活支援サービスの充実（安心して暮らせる生活支援）	■配食サービス事業 ■福祉用具相談・購入・レンタル事業 ■シルバーハウジング生活援助員派遣事業 ■高齢者虐待防止ネットワーク事業 ■成年後見制度利用支援事業 ○緊急通報装置設置事業 ○除雪サービス事業 ○高齢者等屋根雪下ろし費用助成事業 ○あんしんキット配布事業 ○安全安心見守りネットワーク ○地震発生時要援護者安否確認事業 ○町内巡回バス運行事業 ○社会福祉法人等利用者負担軽減事業 ○高齢者運転免許証自主返納支援事業 △らくらく移送サービス事業（社協）
		認知症高齢者の支援	■認知症サポーター養成講座 ■認知症高齢者等SOSネットワーク事業 ■認知症地域支援ケア向上事業 ■認知症初期集中チーム活動 ■認知症高齢者等位置情報機器貸与事業
		介護者支援の充実	■介護者のつどい事業 ○こころの健康相談
		高齢者の住まいの支援	■住宅改修（相談窓口）事業 ○シルバーハウジング ○養護老人ホーム入所措置 ○住宅リフォーム等助成事業 △特別養護老人ホーム △サービス付高齢者住宅
	④高齢者を支える体制づくり 支援体制づくり 介護サービス・保険料	介護保険サービスの充実	■総合相談窓口 ■介護予防・日常生活支援総合事業 ■介護給付サービス ■地域密着型サービス ■介護給付適正化事業 ■介護サービス情報公開
		在宅医療・介護連携の推進	■保健福祉医療サービス調整推進会議 ○地域保健医療福祉連絡会議 ○在宅医療介護連携事業
		支援体制づくりの推進	■地域ケア会議（地域包括ケア推進会議・個別会議） ■高齢者生活支援地域づくり推進事業 ■生活支援体制整備事業
		サービス費用と保険料	

■現状と課題の整理

高齢者を取り巻く現状分析や、第6期計画の進捗状況、各種調査分析等から、現状と課題を整理し、本計画の施策に反映すべきニーズを抽出

第6期 介護保険計画	ニーズ調査・在宅介護調査・システム分析	第7期計画（案）
<p>■目標1：いきいき暮らす</p> <p>隣近所などの身近な人たちとの接点を持つことはもとより、さまざまな活動、社会貢献の場を提供することで、社会参加の促進を図り、孤立感の解消や介護予防につながる地域づくりを推進します。</p>  <p>【第6期計画の取組状況の評価】</p> <p>高齢者の生きがいを推進するため、高齢者の自主的な活動団体である老人クラブや老人クラブ連合会の活動支援をはじめ、高齢者の仲間づくりや老化防止を図るために、高齢者同士で楽しめる「元気ハツラツ事業（リアル野球盤ゲーム）」や「高齢者いきいき健康マージャン」を実施しています。</p> <p>また、身近な人たちとの接点を持ち、閉じこもり防止や孤立感の解消を図るため、高齢者が気軽に集えるよう「地域づくりサロン事業（カフェサロン）」と高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を推進するため、「介護支援ボランティアポイント事業」を開始しました。</p> <p>【第7期計画策定に向けた方向性】</p> <p>これからの高齢社会において、地域で支え合う体制づくりが必要であり、高齢者がいきいきと自立した生活をしていくためには。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■元気高齢者を多くすることが必要</li> <li>■地域に参加、地域で活動できる場が必要</li> <li>■生涯活動ができる地域づくりが必要</li> <li>■就労を含めた生きがいを推進することが必要</li> </ul>	<p>問4 毎日の生活について</p> <p>⑧趣味はありますか？ →「趣味が思いつかない」が21.6%、</p> <p>⑨生きがいはありますか？ →「生きがいが思いつかない」が33.0%</p> <p>問5 地域での活動について</p> <p>①会趣味関係のグループどのくらいの頻度で参加していますか。 →「老人クラブ（月1～3回）」44.1% 「町内会・自治会（年に数回）」20.9% 「趣味関係（月1～3回）」14.8% 「スポーツ（週2～3回）」12.5%</p> <p>（第2回策定委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★農村地区老人会への参加者減少 →会館まで行けない。（移送支援）⇒「事業参加」「外出促進」</li> <li>★会館使用料掛かる（料金も高い） →活動・開催に対する費用支援の充実</li> </ul> <p>④介護支援ボランティアポイント事業に参加したいですか？ →「ぜひ参加したい」26.5% 「参加したくない」73.5% ★その理由：体調不良、年齢的に無理、忙しい、など・・・</p> <p>（第2回策定委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ボランティアが高齢化</li> <li>★会員の減少 →宣伝した方がいい。</li> <li>★ボランティアの人材育成が必要</li> </ul> <p>【計画づくり目線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味、楽しみのある活動づくりと支援</li> <li>・老人会、地域サロンへの参加周知</li> <li>・居場所づくりとサロンの充実・支援</li> <li>・社会福祉協議会との連携した事業の展開</li> <li>・ボランティアポイント事業の周知・啓発</li> <li>・高齢者事業団を活用する事業づくり</li> </ul>	<p>■基本目標1：いきいき暮らす地域づくり</p> <p>高齢期を迎えても健康で生き生きと生活していくためには、年齢にとらわれることなく、積極的に活動し、自立した生活をしていくための生きがいを進めていくことが重要です。</p> <p>また、介護ボランティアや地域の見守り・支え合い活動の担い手となり、地域を活性化させていくことが重要です。</p> <p>そのため、高齢者自身が培ってきた知識や経験、技術を生かし、地域の担い手や就労、学習活動や交流など、地域社会と関わりながら主体的に活躍できる場の確保に努めると共に、高齢者が生涯を通じた活動や生活ができる地域づくりを推進します。</p> <p>（1）生きがい活動の充実と生涯学習活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位老人クラブ、老人クラブ連合会活動支援</li> <li>・地域づくりサロン事業（H28～）</li> <li>・高齢者いきいき健康マージャン事業（H28～）</li> <li>・高齢者元気ハツラツ事業（H28～）</li> <li>・ふれあいの湯入浴料助成</li> <li>・南幌町さわやかカレッジ</li> <li>・福祉スポーツ大会</li> <li>・ひだまりサロン</li> <li>・ふれあい食事交流会</li> </ul> <p>（2）社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援ボランティアポイント事業（H28～）</li> <li>・高齢者事業団活動支援</li> </ul> <p>※事業を推進する上での、「高齢者の足の確保」の記載は、「目標3：安心して暮らす地域づくり」の中で表記します。</p>

継  
続  
事  
業

第6期 介護保険計画	ニーズ調査・在宅介護調査・システム分析	第7期計画
<p>■目標2：健康で暮らす</p> <p>健康寿命の延伸を目指し、健康や予防への関心を高め、健康・体力の維持増進や予防に向けた一人ひとりの主体的な取り組みを促すとともに、高齢者が主体のグループ等の自主的な活動への支援を推進します。</p>  <p>【第6期計画の取組状況の評価】</p> <p>高齢者の介護予防に係る運動促進として、既存事業である「快足シャキット倶楽部」を実施し、平成27年度より老人クラブ活動で自主的に運動に取り組める「高齢者運動促進貯筋力アップ事業」、平成28年度に町営プールの改築に伴い、関節負担の軽減や心肺機能向上を図る「高齢者水中運動事業」を開始しました。</p> <p>介護予防や健康維持の普及啓発として、男性の自立した食生活と健康づくりに「男の料理教室」実施し、平成29年度より「元気応援ネットワーク事業」として、介護専門職員等に地域の集まり出向いて介護予防の実践指導や講話を行っています。</p> <p>生活習慣病の予防を目的に特定健診や、各種がん検診等を実施し、高齢者が介護状態に陥ることなく健康な生活が送れるよう保健師や管理栄養士が個人にあった保健指導や家庭訪問や健康栄養相談を実施しています。</p> <p>【第7期計画策定に向けた方向性】</p> <p>住民の介護予防活動を更に強力に推進するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■介護予防に対する意識の向上を図る取り組みが必要</li> <li>■介護の要因となる生活習慣病予防の取組みが必要</li> <li>■現状の介護予防事業の充実が必要</li> <li>■新たな介護予防事業の展開や事業参加者の増加に向けて、社会福祉協議会や教育委員会などの多種機関との連携が必要</li> <li>■身近な地域での自主的な介護予防の取組みが必要</li> </ul>	<p>ニーズ調査・在宅介護調査・システム分析</p> <p>問1 あなたの生活状況は</p> <p>②-1 介護・介助が必要になった主な原因は？</p> <p>→「糖尿病」が16.7% 「骨折、転倒」が13.3%</p> <p>問2 からだを動かすことについて</p> <p>⑤転倒に対する不安は大きいですか？</p> <p>→「とても不安」17.4% / 「やや不安」41.8%</p> <p>問7 健康について</p> <p>⑦現在治療中、または後遺症のある病気はありますか？</p> <p>→「高血圧」28.5% 「目の病気」11.6% 「糖尿病」8.1%</p> <p>【計画づくり目線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な体づくり</li> <li>・成人期からの生活習慣病対策（食生活改善・軽運動普及）</li> <li>・足腰強化（運動のきっかけ、環境づくり）</li> </ul> <p>★議会一般質問（H28.6月：西股議員）</p> <p>「既存の公園の遊具を介護予防遊具への更新に！」</p> <p>⇒ 公園の遊具の更新につきましては、長寿命化計画に基づき実施しているところでありますが、今後は健康遊具も含めて第6期総合計画の中で検討してまいります。</p>	<p>第7期計画</p> <p>■基本目標2：健康で暮らす地域づくり</p> <p>高齢期になっても、毎日を生き生きと暮らすためには、日頃からの健康づくりが大切です。</p> <p>介護を必要としない元気な高齢者に対して、生活習慣病に対する啓発を行うとともに、快足シャキット倶楽部など介護予防に効果のある体操などを広め、健康寿命を延伸できるよう取組を進めます。</p> <p>また、身近な地域で介護予防の取組が進む仕組みづくりを行い、高齢者同士が交流を図りながら、健康で活動的な生活が送れるよう支援し、元気な高齢者を増やします。</p> <p>(1) 生活習慣病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査・重症化予防の生活・栄養指導</li> <li>後期高齢者健診・生活栄養指導</li> <li>保健師・管理栄養士による保健指導</li> <li>各種検診（がん検診・巡回脳検診）</li> </ul> </li> <li>・高齢者予防接種事業（高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌）</li> <li>・家庭訪問</li> <li>・健康教室、栄養相談（老人会）</li> </ul> <p>(2) 介護予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の料理教室</li> <li>・快足シャキット倶楽部</li> <li>・ノルディックウォーキング用ポール貸出事業</li> <li>・高齢者運動促進事業（貯筋力アップ事業：H28～）</li> <li>・高齢者水中運動事業（H28～）</li> <li>・元気応援ネットワーク事業（H29～）</li> </ul>

継  
続  
事  
業

第6期 介護保険計画	ニーズ調査・在宅介護調査・システム分析	第7期計画
<p>■目標3：安心して暮らす</p> <p>一人暮らしの高齢者や認知症の方などが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、支援を必要とする方の多様なニーズに対応するために地域の住民や関係機関と連携・協力して生活支援の体制整備を進めます。</p>  <p>【第6期計画の取組状況の評価】</p> <p>高齢者の急病時における救急救助対策として実施している「緊急通報装置設置事業」は、機器装置を更新し、平成27年度より設置対象者を拡大し、安心して生活ができる体制を整備しています。</p> <p>また、高齢者等の冬期間における屋根の雪下ろし作業の負担軽減を図るため、「高齢者等住宅屋根雪下ろし助成事業」を平成28年1月より実施しています</p> <p>平成29年4月から「南幌町介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」を実施し、南幌高齢者事業団（住民団体）による生活支援サービスを開始しました。</p> <p>「認知症総合支援事業」においては、認知症初期集中支援チームの設置と認知症地域支援推進員を3人配置し、認知症の早期発見・早期治療を目的として活動しています。</p> <p>また、徘徊行動がある、又は恐れのある認知症高齢者やご家族にGPS端末機を貸与し安心な生活を支援する「認知症高齢者等位置情報機器貸与事業」を開始しました。</p> <p>その他、高齢者の自主的な自動車運転免許の返納を推進し、安心安全な環境づくりとして「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を実施しています。</p> <p>【第7期計画策定に向けた方向性】</p> <p>高齢者や認知症の方などが、安心して住み慣れた家で暮らせる環境づくりを推進するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現行の福祉サービスの充実が必用</li> <li>■ 日常生活でニーズの高い生活支援サービスの構築が必要</li> <li>■ 専門的な民間事業者以外の新たな住民等による多様な生活支援ができる体制づくりが必要</li> </ul>	<p>■問8 今後の生活について</p> <p>②自分や家族が除雪できない場合どうしますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→「近所の方に頼む」26.0%</li> <li>「町のサービスに申請する」22.4%</li> <li>「業者に委託する」20.5%</li> </ul> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>(第2回策定委員会)</p> <p>★近所をお願いできる共助（互助）のある地域づくりを！</p> <p>→災害時の助け合いを含めた地域のコミュニティづくり</p> </div> <p>【計画づくり目線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援に係る共助（互助）意識の啓発と共助（互助）推進の仕掛けづくり</li> <li>・除雪サービス（公助）の見直しと民間サービス利活用</li> </ul> <p>④運転免許証を自主返納するとしたら、何のサービスの充実が必要ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→「タクシー・ハイヤー」34.9%</li> <li>「路線バス」30.0%</li> <li>「巡回バス」24.6%</li> </ul> <p>■在宅調査</p> <p>問1（介護を受けている方に対する調査）</p> <p>⑨今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→「移送」13.2%/「除雪」12.8%</li> <li>「外出同行」10.3%</li> </ul> <p>問2（介護者に対する調査）</p> <p>⑤主な介護者の方が行っている介護等は？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【生活援助】金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15.0%</li> <li>【身体介護】外出の付き添い、送迎等 14.8%</li> <li>【生活援助】家事（掃除、洗濯、買い物等） 14.0%</li> </ul> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>(第2回策定委員会)</p> <p>★病院・買い物に特化した送迎サービスの検討</p> <p>→既存事業者の支援、新たなサービス、担い手の発掘</p> </div>	<p>■基本目標3：安心して暮らす環境づくり</p> <p>高齢者の多くは自宅で暮らし続けることを望んでいます。高齢者が自分の家で安心して生活するためには、生活を支えるサービスが必要です。</p> <p>第6期の計画期間中では、介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、新たに多様な生活支援サービスが開始するなど、高齢者のニーズに即したサービスの見直し・充実に努めてきました。</p> <p>今後、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の増加に対応するために、介護する方の支援も含めた生活支援サービスの充実や地域での支援体制を推進します。</p> <p>また、認知症高齢者の増加も見込まれるため、本人や家族を地域で支える仕組みづくりを推進します。</p> <p>(1) 生活支援サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービス事業</li> <li>・福祉用具相談（レンタル・購入）</li> <li>・緊急通報装置設置事業</li> <li>・あんしんキット配布事業</li> <li>・地震発生時要援護者安否確認事業</li> <li>・除雪サービス事業</li> <li>・高齢者等屋根雪下ろし費用助成事業（H27～）</li> <li>・安全安心見守りネットワーク事業</li> <li>・高齢者虐待防止ネットワーク事業</li> <li>・成年後見制度利用支援事業</li> <li>・シルバーハウジング生活援助員派遣事業</li> <li>・社会福祉法人等利用者負担軽減事業</li> <li>・町内巡回バス運行事業</li> <li>・高齢者運転免許証自主返納支援事業（H29～）</li> <li>・らくらく移送サービス事業</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>★「高齢者の足の確保の検討」を記載する。</p> </div> <p>(2) 認知症高齢者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・認知症高齢者等SOSネットワーク事業</li> <li>・認知症地域支援ケア向上事業（H29～）</li> <li>・認知症初期集中チーム活動（H29～）</li> <li>・認知症高齢者等位置情報機器貸与事業（H29～）</li> </ul>

継  
続  
事  
業

- サービスが受けやすくする環境（経済支援）づくりが必要
- 地域住民による見守りや声掛けなどの意識・体制強化が必要
- 認知症に関する住民への普及啓発（認知症サポーターの拡充）やその相談体制の強化が必要
- 介護する方やその家族が、介護の負担を抱え込まないよう、相談窓口による精神的負担軽減や経済的支援が必用

**【計画づくり目線】**

**<移送関係>**

- ・ 移送支援 →公共交通機関・民間移送の利用助成
- ・ 目的設定（病院・買い物・介護予防事業）した送迎支援  
→総合事業（生活支援サービス）での検討、実施

**<家事・金銭管理・手続き関係>**

- ・ 成年後見制度の啓発、手続き支援
- ・ 日常生活支援の充実（総合事業）
- ・ 日常生活自立支援事業の充実、支援  
（社会福祉協議会との連携・支援）

⑦あなたが介護できなくなった時、介護を担える方はいますか？  
→「いいえ」63.6%

**【計画づくり目線】**

- ・ 介護者に係る負担軽減の取り組み  
（※介護者のつどいでの意見集約）
- ・ 在宅サービスの充実
- ・ 支え合い体制づくり

- (3) 介護者支援の充実
- ・ 介護者のつどい事業
  - ・ こころの健康相談

★「介護する方の負担軽減の在り方の検討」を記載

- (4) 高齢者の住まいの支援
- ・ 住宅改修相談窓口事業
  - ・ 道営シルバーハウジング
  - ・ 養護老人ホーム入所措置事業
  - ・ 特別養護老人ホーム
  - ・ サービス付高齢者住宅
  - ・ 住宅リフォーム等助成事業（H29～）

継  
続  
事  
業

第6期 介護保険計画	ニーズ調査・在宅介護調査・システム分析	第7期計画
<p>■目標4：支え合って暮らす</p> <p>高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、住民同士のつながりによる心通いあう支え合いを推進するため、町内会等を単位としたその地域の実情に合った取り組みができるよう支援します。</p> <p>また、様々なサービスが切れ目なく提供できるよう、住民を含めた関係機関との連携強化を図ります。</p>  <p>【第6期計画の取組状況の評価】</p> <p>平成23年度より継続している「高齢者生活支援助地域づくり推進事業（福祉を語ろう会）」で、各行政区・町内会における高齢者の状況認識と地域住民等による高齢者を取り巻く地域課題の抽出を行っています。</p> <p>地域包括支援センターでは、地域包括ケアシステムを推進するため、介護保険関係者以外に、地域代表、ボランティア団体代表等、地域に関わりのある方による「地域包括ケア推進会議」を開催し、「地域支援事業」「地域密着型サービス事業」などについて、評価・協議・計画推進を行っています。</p> <p>また、地域密着型サービス事業所には、実地指導を行い、適切な事業所運営、自己評価・外部評価の実施、運営推進会議の実施等について指導することにより、介護サービスの質の向上、情報公開、地域との連携等に努めています。</p> <p>平成28年度から「在宅医療・介護連携推進事業」を実施し、医療と介護の多職種連携を図るための会議や研修事業を開催しています。</p> <p>その他、平成29年4月から地域での生活支援体制づくりを推進するために、生活支援コーディネーターを配置し、老人クラブやカフェサロンなど、地域における高齢者同士の活動支援を実施しています。</p> <p>【第7期計画策定に向けた方向性】</p> <p>高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう地域包括ケアシステムをより推進するとともに、介護保険制度の持続可能性を高めるには、</p>	<p>問7 健康について</p> <p>⑦現在治療中、または後遺症のある病気はありますか？</p> <p>→「高血圧」28.5%</p> <p>「目の病気」11.6%</p> <p>「糖尿病」8.1%</p> <p>【計画づくり目線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護連携の推進</li> <li>・訪問診療の推進</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>	<p>■基本目標4：高齢者を支える体制づくり</p> <p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる社会の実現に向け、医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要です。</p> <p>今後も高齢者数は増加していくことが予想され、介護や支援を必要とする高齢者もそれに伴って増加していくことが想定される中、介護や支援が必要になってもできる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、国の介護給付費適正化計画と整合性を保ちながら、必要な介護サービスが、適正に提供されるよう取り組みます</p> <p>さらに認知症の方や介護者への支援、権利擁護、生活支援など、さまざまなニーズを抱える高齢者を包括的に支える仕組みとして、地域包括支援センター機能や地域ケア会議の充実、生活支援等サービスの提供体制の整備を推進します。</p> <p>(1) 介護保険サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談窓口</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業：H29～)</li> <li>・介護給付サービス</li> <li>・地域密着型サービス</li> <li>・介護給付適正化事業</li> <li>・介護サービス情報公開</li> </ul> <p>(2) 在宅医療・介護連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉医療サービス調整推進会議</li> <li>・地域保健医療福祉連絡会議</li> <li>・在宅医療介護連携事業（H28～）</li> </ul> <p>(3) 支援体制づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議 （地域包括ケア推進会議・個別会議）</li> <li>・高齢者生活支援助地域づくり推進事業</li> <li>・生活支援体制整備事業（H29～）</li> </ul>

継  
続  
事  
業

- 総合事業において、従来の基準緩和したサービスや住民主体の生活支援サービスの構築が必用
- 医療や介護を必要とする状態になっても、必要なサービスを切れ目なく提供することが重要
- 在宅生活が継続できるよう関係機関や地域の連携を強化することが必要